

## Open Library Weeks 2013 城西大学

「オンラインを利用した広報活動ーホームページ、Twitter、SNS を中心にー」実施報告

### 1. テーマ

「オンラインを利用した広報活動ーホームページ、Twitter、SNS を中心にー」

### 2. Open 日程

平成 25 年 10 月 22 日 (火) 於：城西大学水田記念図書館

- 13:00~13:10 事前アンケート結果報告
- 13:10~13:40 当館事例報告
- 13:40~14:40 ディスカッション
- 14:40~15:00 館内ツアー (希望者)

### 3. 参加者数 8 館 8 名 (および当館 7 名。計 15 名)

### 4. 事前アンケート調査結果

SALA 加盟館への事前アンケートを実施 回答数：15 館 (当館含む)

- ・図書館 HP の管理運営： 図書館員 (12) 他部署 (3) 学外 (1)
- ・HP の更新： CMS (コンテンツ・マネジメント・システム) (7) html (5) 外部委託 (2) HP 作成ソフト (0) その他 (3: 図書館 HP なし、他部署更新のため不明)
- ・HP 以外のオンライン広報ツール：
  - ア) 現在使っている： twitter (4) facebook (1) ブクログ (4) デジタルサイネージ (2) その他 (1: フリーソフトのブログツール『Word Press』を使用)
  - イ) 今後使いたい、使う予定： twitter (6) facebook (2) ブクログ (3)
- ・オンライン広報の利用統計：

機械的に単純に取れるもの (ホームページのアクセスカウンタ数、twitter のフォロワー数、SNS の「いいね」数、ブクログの登録数など) を集計 (4)

その他の方法でも取っている (2: 必要に応じてアクセスカウンタ数)

### 5. 概況

事前アンケート集計結果の報告後、本学の事例報告として、各種広報ツールの使い分け、各ツールの運用体制、発信内容、編集方法、役割、統計取得などについて報告し、参加者とのディスカッションに入った。事前アンケートで「聞いてみたいこと」で挙げた点を交えながら、Twitter や SNS を始めるにあたって注意した点、双方向性をどう運営しているのかなど、先行館の状況を聞きながら活発な意見交換の場となった。

#### ブクログについて

- ・レビュー欄には配架場所などだけではなく、「レビュー」が載っていてほしい。

- ・ OPAC へのリンクがあると、貸し出し状況なども分かり良い。
- ・ ブログパーツの活用（図書館サイトへの本棚画像の掲載）はあるとそれなりに効果。
- ・ 「館長の部屋」のような登録があっても良い。

#### □ツイッター

- ・ スпамメールがきたケースがあり（少数）。対応としては「無視」。
- ・ 開館／閉館情報、データベースメンテナンス情報、部屋予約情報の要望が多い。
- ・ 資料の探し方ワンポイントなどもツイートしている。
- ・ 日時指定の予約投稿機能を使って、休館情報などを自動投稿させている。

#### □フェイスブック

- ・ 当日参加館のうち 2 館（文教・淑徳）が採用。
- ・ ツイッターは速報情報。フェイスブックは広報雑誌のような扱い。
- ・ ツイッターほど更新していない。

#### □その他

- ・ 最近の学生同士のやり取りは LINE が多い。
- ・ 担当以外の者でも更新できるように、担当者に作業が偏らないよう工夫している。

## 6. 参加者からの感想

- ・ 参考になりました。
- ・ 内容が整理されていて話しやすかったです。
- ・ Twitter 等について具体的なお話が聞けてとても参考になりました。
- ・ ブクログは、今後どう使うか悩んでいたのも色々サジェスションをいただいた。よい企画運営だったと思います。
- ・ 勉強にもなったのですが、それよりもとても楽しい時間でした。有難うございました。
- ・ ディスカッションで時間がいくらあっても足りない感じでした。一日研修でも良いですね。
- ・ 長く時間をとっていただいて助かりました。
- ・ 時間が 2 時間に設定されているようでしたが長くなるなら最初から 3 時間等で設定していただきたかった。
- ・ 時間が 2 時間では足りなかった。

以上

## Open Library Weeks 2013 跡見学園女子大学

### 「図書館の学習支援体制（ラーニング・コモンズ）」実施報告

#### 1. テーマ

「図書館の学習支援体制（ラーニング・コモンズ）」

#### 2. Open 日程

平成 25 年 11 月 5 日（火） 於：跡見学園女子大学新座図書館

13:00～14:00 参加者自己紹介

館内ツアー、ラーニング・コモンズ計画紹介

14:00～15:30 ディスカッション

※ディスカッション基礎資料作成のため、ラーニング・コモンズ設置状況について参加者に事前アンケートを実施

#### 3. 参加者数

8 館 11 名（および Open 館 2 名 計 13 名）

#### 4. 概況

アクティブ・ラーニングの必要性とともに、学習の場としての図書館、ラーニング・コモンズが話題になることが多く、図書館としてはスペースの設置、人的配置、運営方法等、検討事項は多々存在する。

Open 館では、小規模ながら平成 25 年 10 月よりラーニング・コモンズが誕生した。限られたスペースの小規模なスタートであるが、既存のスペースを転換利用しながら、徐々に空間を広げていく計画である。Open Library Weeks では、図書館の新たな学習支援体制としてラーニング・コモンズをテーマに取り上げ、Open 館の計画の進展を紹介し、今後、ラーニング・コモンズへの転換が予定されているスペースを館内ツアーの中に組み込んで見学を行なった。

見学後のディスカッションでは参加者同士が自館のラーニング・コモンズ状況を紹介しあい、図書館内にラーニング・コモンズを設置する意義、レファレンス・サービスとの連携を踏まえ、学習支援においてどのような工夫ができるのか、活発な意見交換が行なわれた。

#### 5. 参加者からの感想

- ・他校の皆様のご意見を拝聴し、今後のラーニング・コモンズについて参考になることが多々ございました。この様な機会をいただき、改めて感謝申し上げます。これを機会に、皆様と情報交換などさせていただければ幸いです。

- ・ラーニング・コモンズにつきまして皆様の取り組みやご意見を伺うことができました大変参考になりました。静粛ゾーンやコミュニケーションスペースなど、本学図書館に無い部分につきましては特に考えさせられ、何か工夫できないものかと思いましたが。また意見交換会では「ホワイトボードひとつでラーニング・コモンズはできる」という発想は大変心強く、本学図書館でのラーニング・コモンズについて別の視点で考えるきっかけとなりました。
- ・頂戴した参加校の学習支援体制表は、スタッフで回覧し、今後を考える上で大いに活用させていただきます。

以上

## Open Library Weeks in Bunkyo University

### 1. 概要

■Open 日(1) : 2013 年 11 月 12 日(火) 13 : 00-16 : 00

(2) : 2013 年 11 月 20 日(水) 15 : 00-17 : 00

※当初 10 月 16 日 (水) を予定していたが、台風の接近により延期。参加予定者に都合をお聞きし、最大多数が参加可能となった 11 月 12 日に開催した。なお、当初参加予定者で参加できなかった方を対象として、20 日にも同内容で実施した。

### ■参加者数

11 月 12 日 : 14 名 (10 機関)

11 月 20 日 : 3 名(1 機関)

計 17 名 (11 機関)

### ■テーマ

#### 大学図書館の企画展示—文教大学越谷図書館の事例～教職員おススメの 1 冊～

今回の企画は「夏休みにはぜひこの本を！教職員おススメのこの 1 冊」と題し、教職員に協力を願う初めての試みとした展示を企画した。

紹介された図書の半数は小説等の文学書で、その他古典的な教養書、学科基本書・専門書など最終的に教員 35 人 107 冊、職員 8 人 39 冊、合計 43 人 146 冊の紹介を得た。

今回 Open Library Weeks ではこの展示までの経緯とその後の展開について報告する。



### ■内容

13 : 00～14 : 00 当館事例報告

(1) 展示開始の経緯、過去の展示について (10 分)

(2) 現在行っている展示「教職員おススメの 1 冊」の概要 (40 分)

(3) 今回の展示の今後について (10 分)

14：00～14：30 質疑応答／ディスカッション

14：30～15：00 展示会場見学 ※20日も時間ははずしたがほぼ同内容

## 2. 参加者からの感想

○当館では現在のところ、季節やテーマに合わせた絵本の展示はしておりますが、貴館や他館で実施されているような展示はしておりません。たいへん参考になりました。

特に企画展示とブログをリンクさせていることは、特に費用を使わなくてもできることなので、当館でもぜひ倣ってみたいと思いました。

○文教大学図書館の皆様が展示について生き生きと語られる様子がとても印象的でした。仕事が好きという気持ちが伝わってきました。

いただいた展示の配布資料も、写真付きカラー印刷でとても参考になります。

特に「肩肘はらずに気軽に」実施するという言葉が、展示に対して苦手意識をもっていた私としてはありがたく響きました。これからは苦手ながらも、展示に取り組んで少しでも魅力ある展示をできるように努力したいと思います。

他大学様の様子を知ることができたし、それぞれの図書館で工夫されているんだと感じました。本学は小さい展示をいくつか行っており、展示と呼べるほどのスペースではない、紹介コーナーといったほうがよいようなものもあります。それでも、何もしないよりは、行ったほうがよい（行っていて良いのだと）感じました。

○数ある展示の中でも、「教職員おススメの1冊」は特にすばらしい展示だと感じました。教職員に研究室や廊下で話しかける熱意は見習いたいです。

○他の大学で、どのような展示企画が実践されているのか気になっておりましたので、参加させていただきました。

文教大学様で実践されていた「OPACのカテゴリ検索から検索できるようにする」というのは当館ではやっていない事でしたので勉強になりました。

※当館で使用している図書館業務管理システムはリコーのLIMEDIOです。

「先生のお勧め本展示」については、当館では、専任・非常勤合わせて、教員70名の協力を得ておりましたが、改めて多くの参加を得られていることが分かり、教員とやりとりしてくれたスタッフ、協力してくれた教員に感謝をしないといけないと感じました。

ディスカッションでは、各参加館が、どのようなテーマで展示を行っているのか、成功事例・失敗事例など、もっと多くの事例を聞きたいと思いました。参考になる意見が多く、時間が短く感じました。

こちらで教えていただいた事を現場で活かしたいと存じます。

会場館の文教大学越谷図書館の皆様には、このような有意義な研修をご準備いただき、ありがとうございました。